

ハイブリッド・シティとよた

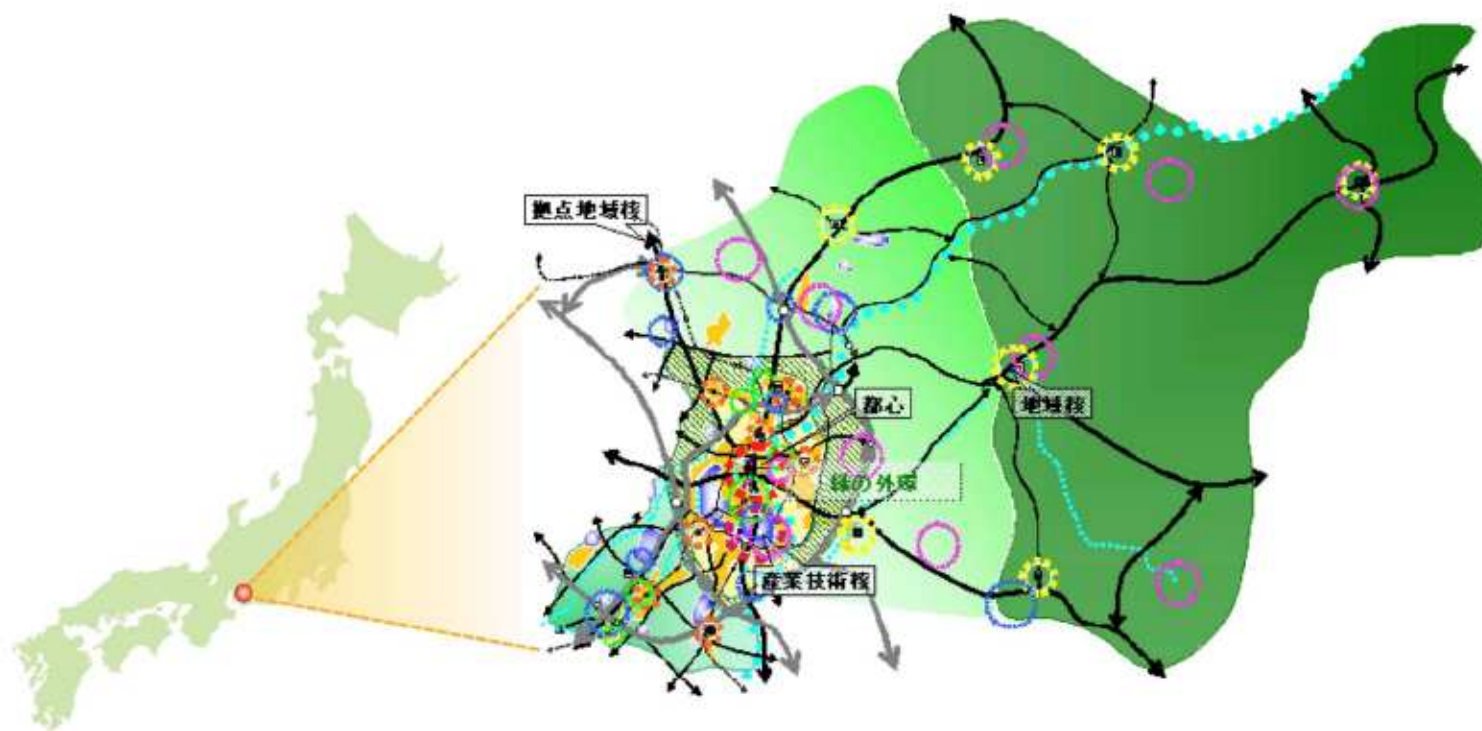
— 人と環境と技術が融合する環境先進都市 —

豊田市 都市整備部
交通政策課

〈「活発な市民活動・強い経済活動」と「水と緑の低炭素社会」の両立〉

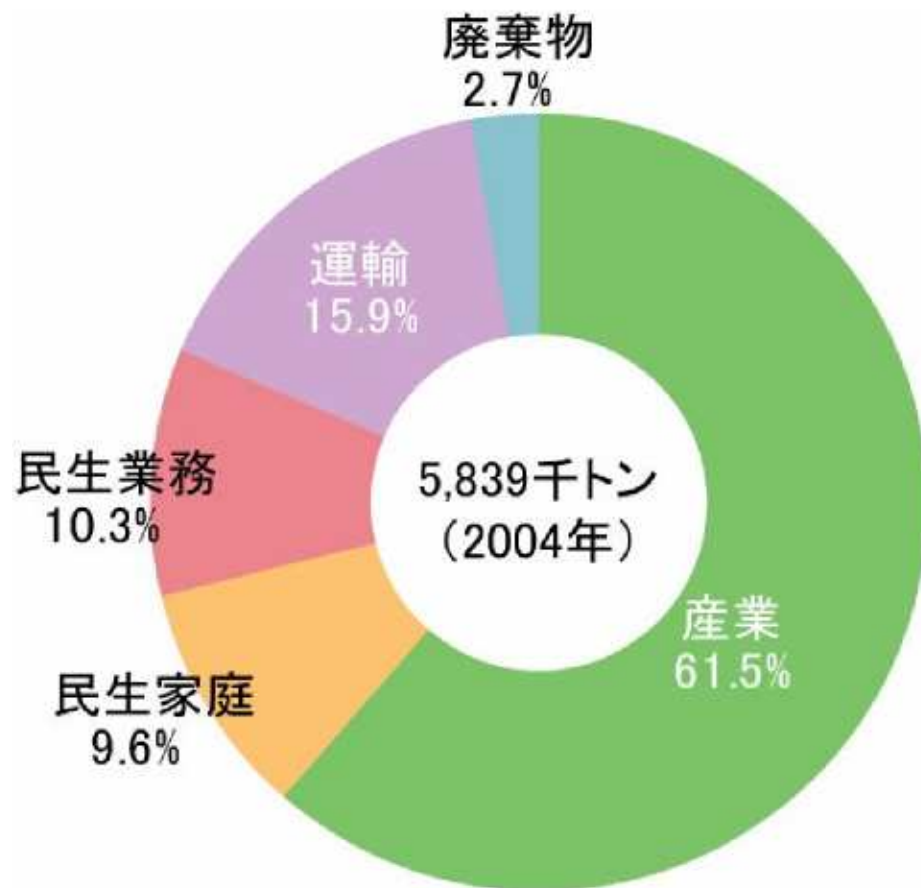
ハイブリッド・シティ とよた

－ 人と環境と技術が融合する環境先進都市 －

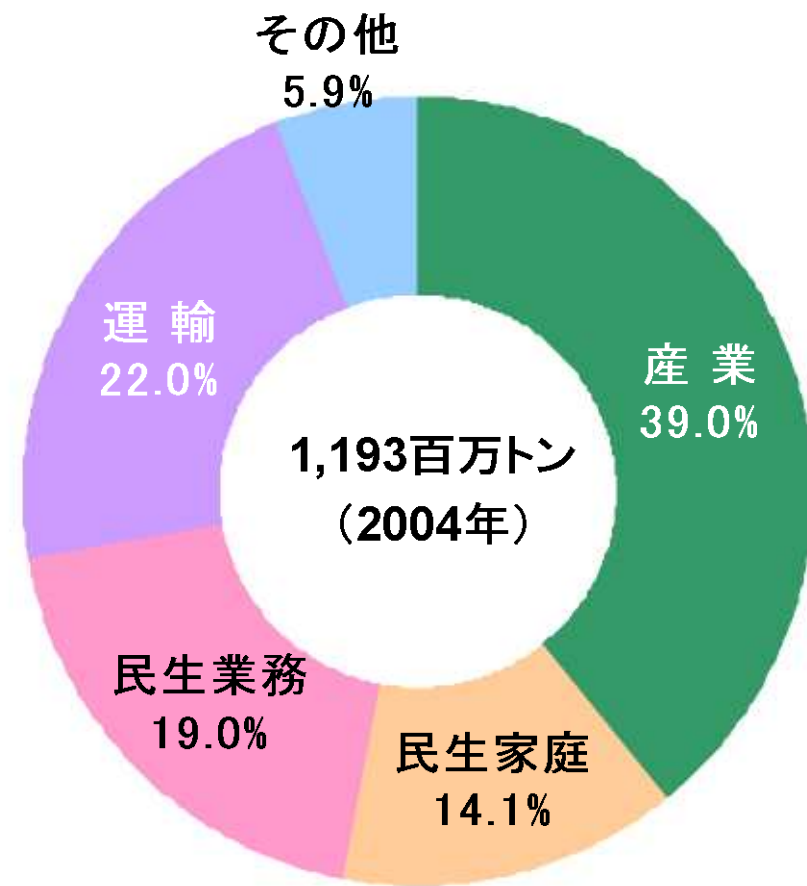


CO₂排出の現況

豊田市



日本全体



CO₂排出の目標値

●CO₂排出量の現況

- ・基準年(1990年): 554万t-CO₂
- ・2004年度 : 584万t-CO₂



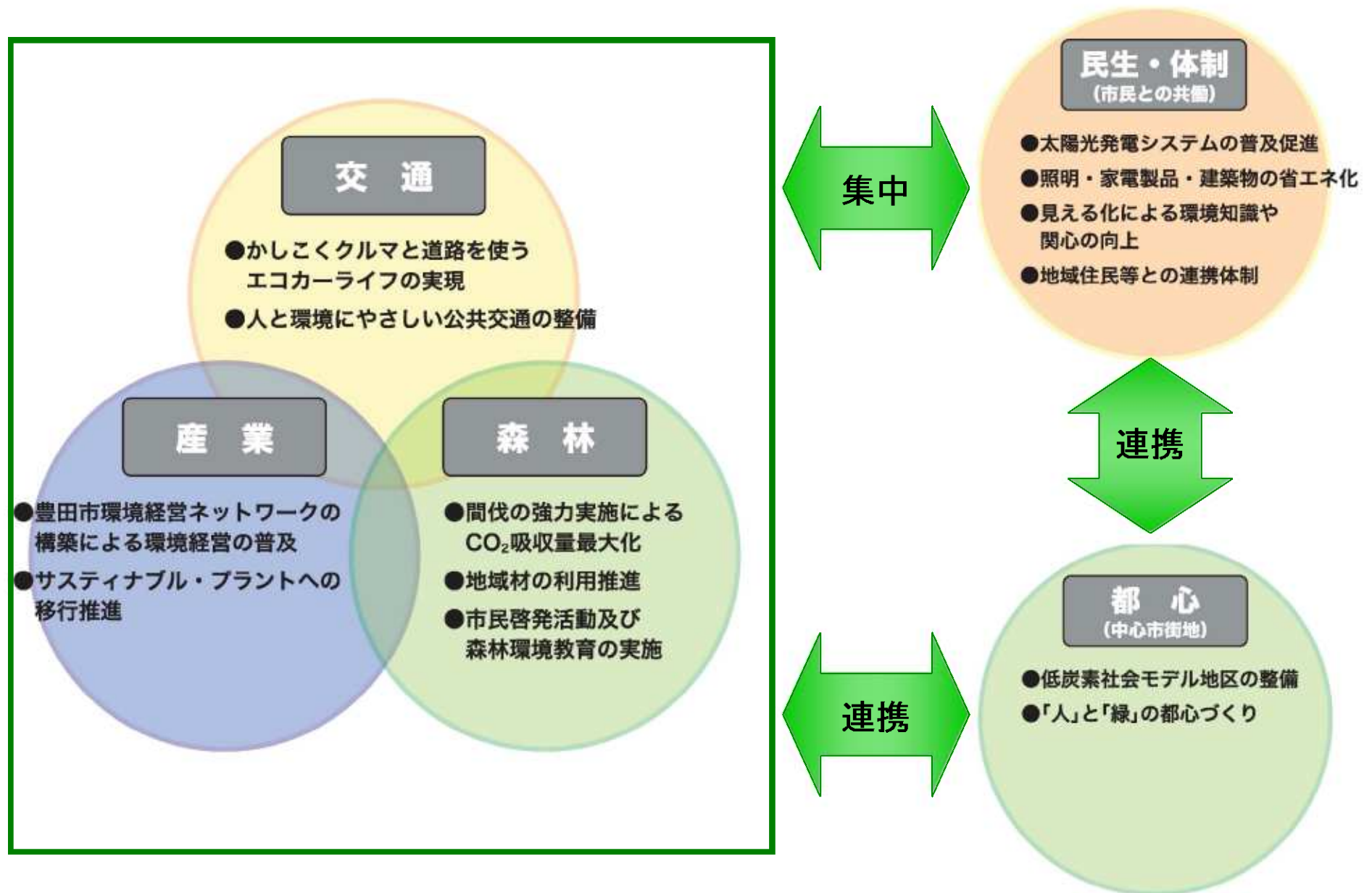
●CO₂削減目標

- ・2030年
【必達】30%【チャレンジ】50%
- ・2050年
【必達】50%【チャレンジ】70%

●2030年部門別増減率

部門	内訳 (%)	増減率(%) 2030年/1990年
産業	67.6	▲27.0
民生(業務等)	7.9	▲17.6
民生(家庭)	8.1	
運輸	14.7	▲40.0
その他	1.7	▲3.2
		増加量(t-CO ₂)
森林吸収量	—	165,000

環境モデル都市アクションプランの概要



産業分野

環境経営ネットワークの構築

中小企業のCO2削減や環境経営の推進を一体的にマネジメント



※サスティナブル・プラント:トヨタ自動車が目指す自然を活用し、自然と調和する工場づくりのこと

森林分野

間伐の強力実施によるCO2吸収量最大化

すべての人工林の健全化に向けて、事業地の集約化を目指した
地域の合意組織「**森づくり会議**」等により協力で間伐を実施



手入れ不足の過密人工林



管理された健全な人工林

都心・交通分野の取組メニュー

1. 人と環境にやさしい公共交通の整備

バス優先レーン

P&R

共通ICカード

エコ通勤



2. エコカー（PHV）の普及

太陽光パネル活用充電施設

購入支援



3. 「人」と「緑」の都心づくり

ゾーン規制

トランジットモール検討

バリアフリー化

パーソナルモビリティ

建物緑化・公園整備

市街地再開発



4. かしくく車と道路を使うまち

スマートIC

エコドライブ

ITS



5. 低炭素社会モデル地区

～世界一の環境型移動支援システムをモデル的に構築～

1. 人と環境にやさしい公共交通の整備

- ・ 特定の路線に、新しい公共交通システムを想定した先導的なシステムをモデル的に導入
- ・ 新しい車両、新しい停留所、新しい道路で構成される公共交通
- ・ モビリティマネジメントと併せて公共交通への転換を図る

<新しい道路>



バス専用レーン



バス優先信号など

<新しいバス停>



バス停上屋



ITSやプローブ情報を活用したバスの到着案内等

<新しい車>



燃料電池自動車



水素供給の仕組み

公共交通システムの進化



バスの小型化

優先レーン／低公害車両



連結運転



自動走行



豊田市は

自動車技術・環境技術進化のショーケース

2. エコカー(PHV)の普及

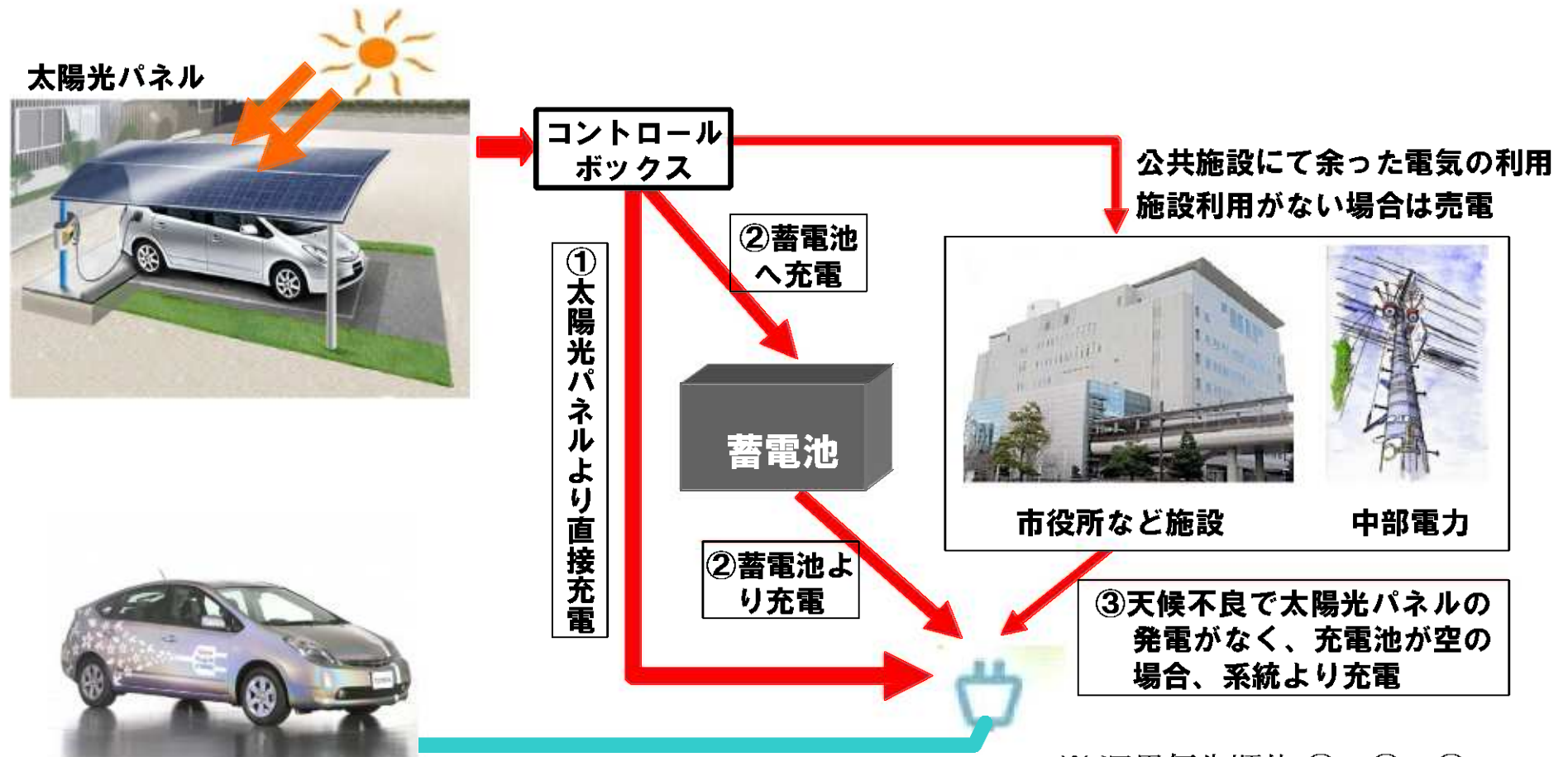
【コンセプト】

市街地での自動車移動の大半を自然エネルギーで賄い、CO2の大幅な削減を実現



プラグインハイブリッド車20台を活用し、太陽光発電による電気で自動車が走行する環境にやさしい車の使い方を提案。

PHVが太陽光発電で走る仕組み



3. 「人」と「緑」の都心づくり

未来を先取りした生活空間、活気と活力あふれる中心市街地

i-REAL

モビリティロボット



人と環境にやさしい魅力ある都市づくり

公共空間の緑化

バリアフリー化された歩行空間

トランジットモール

最新技術で事故ゼロ

人・パーソナルモビリティ・公共交通がうまく共存



新しいモビリティにより形成される都心のイメージ

歩行者・公共交通優先エリア
(ショッピングモール化)



パーソナルモビリティ
の共同利用



←“歩道から
建物内まで
シームレス
に移動”



端末交通を確保し、
都心アクセスを公共交通へ転換、
都心周辺交通のエコ化促進

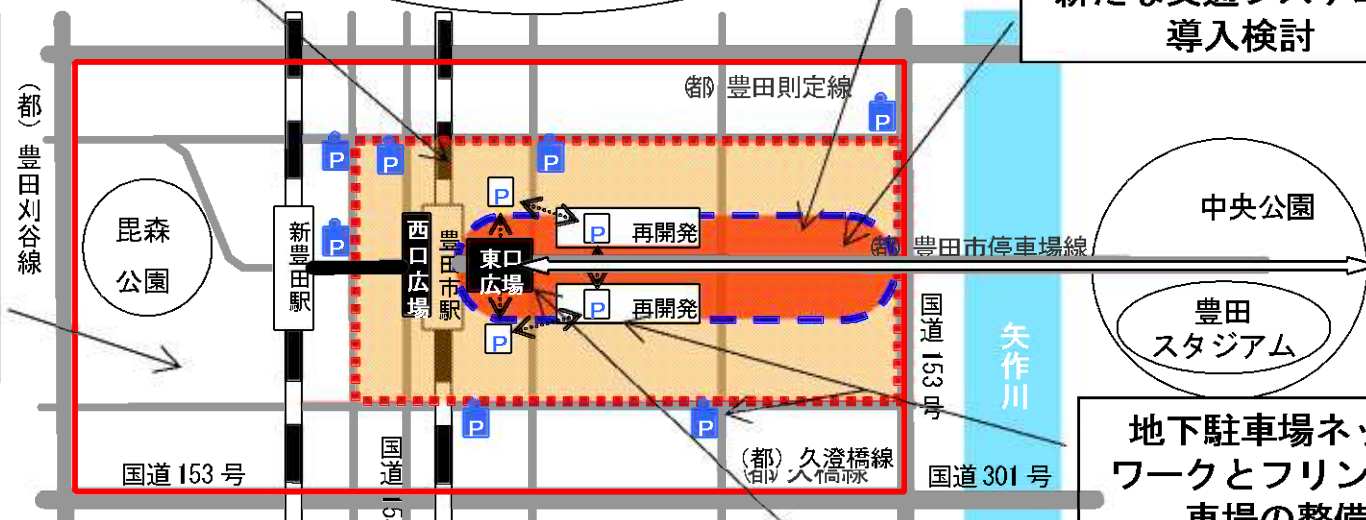
駅前通りトランジットモール化



通過交通
規制エリア



新たな交通システムの
導入検討



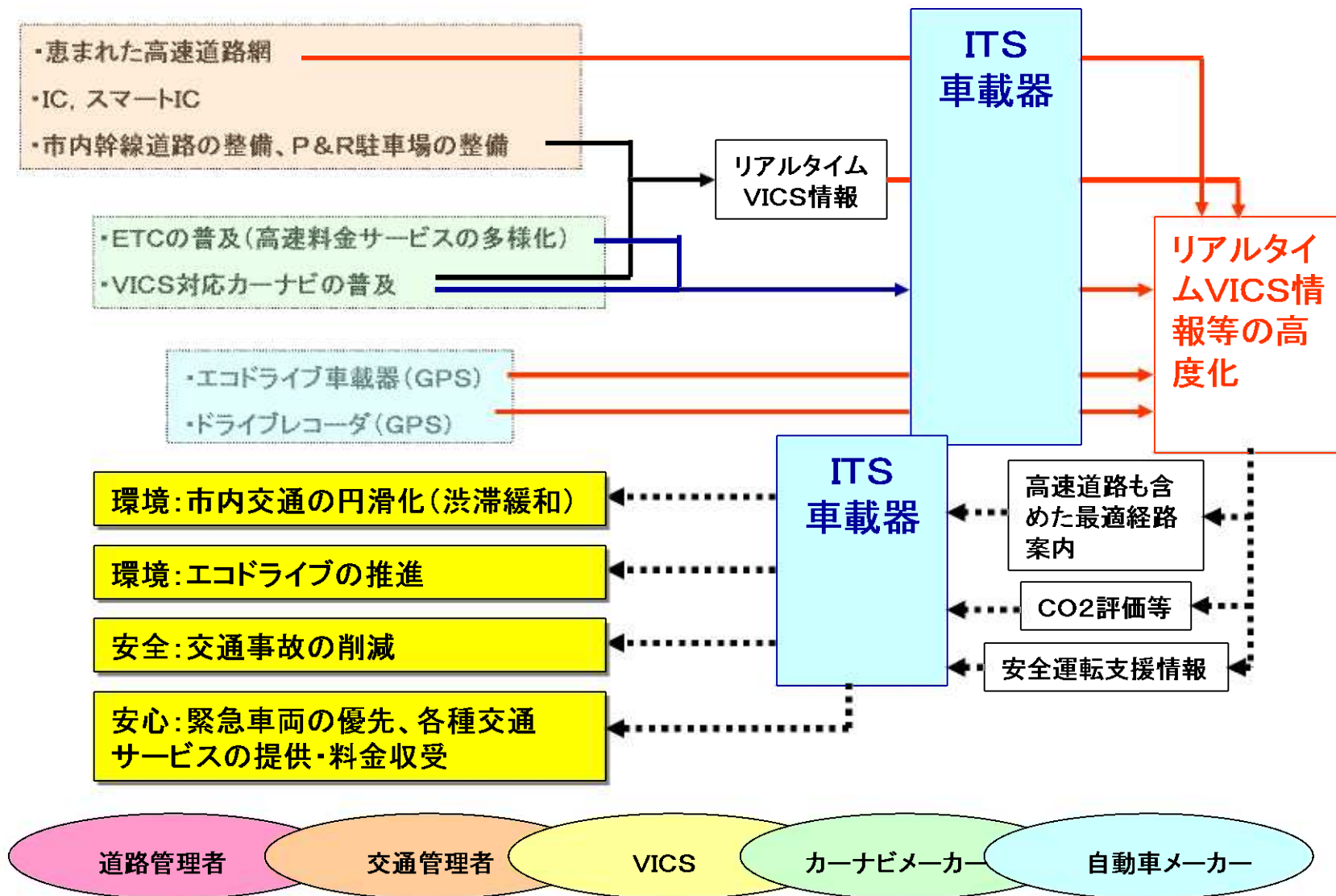
地下駐車場ネット
ワークとフリンジ駐
車場の整備



駅前広場の整備

- 歩行者・公共交通優先エリア
- 通過交通規制エリア
- ↔ 新たな交通システム
- トランジットモール実験箇所
- フリンジ駐車場
- 地下駐車場ネットワーク

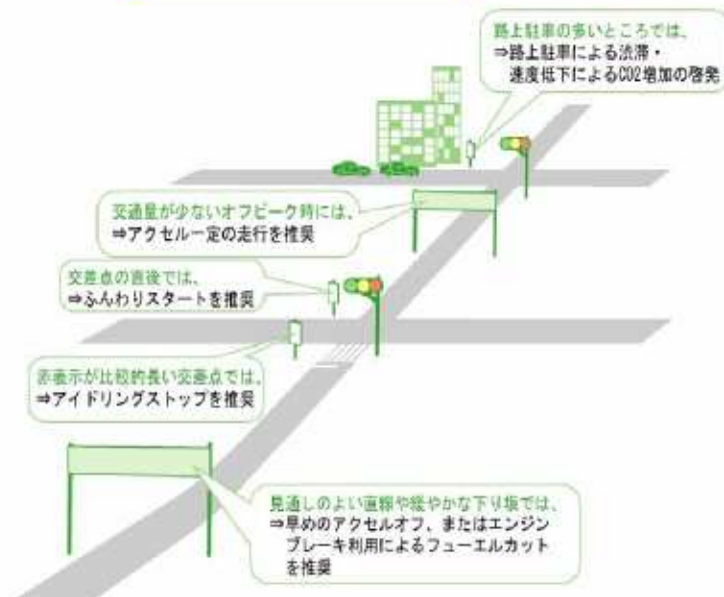
4. かしこく車と道路を使うまち



エコドライブの普及促進

- ◎ **エコドライブロード**の設置整備
 - ・沿道看板や横断幕等を用いた広報・周知を集中的に実施
- ◎ **エコドライブ車載器**の貸与
 - ・エコドライブ技術の体得と継続を促す
- ◎ **1万人モニター**による取組推進
 - ・豊田市の入札（総合評価方式）の評価項目に導入
 - ・モバイルサイトの構築検討
 - ・インセンティブの見直し（エコポイント） など
 - ・豊田市環境経営ネットワーク（産業分野）と連携して、セミナー及び研修会での普及、啓発活動を実施

エコドライブロード



エコドライブ車載器の貸与

エコ・環境サポートシステム イメージ

人が BCALs を携帯し、移動・走行ルート、距離、スピードを自動的に記録・送信します

○アクティビティ分割

移動中、運動中、静止中を自動的に分割し、タイムテーブルで表示

○移動ルートをマップ表示

移動中の GPS データをマップ上へ自動プロット

○エコ診断・健康管理

移動距離、速度、消費カロリー、CO2 排出量をグラフ化し、診断。

エコで健康的な生活をサポート！

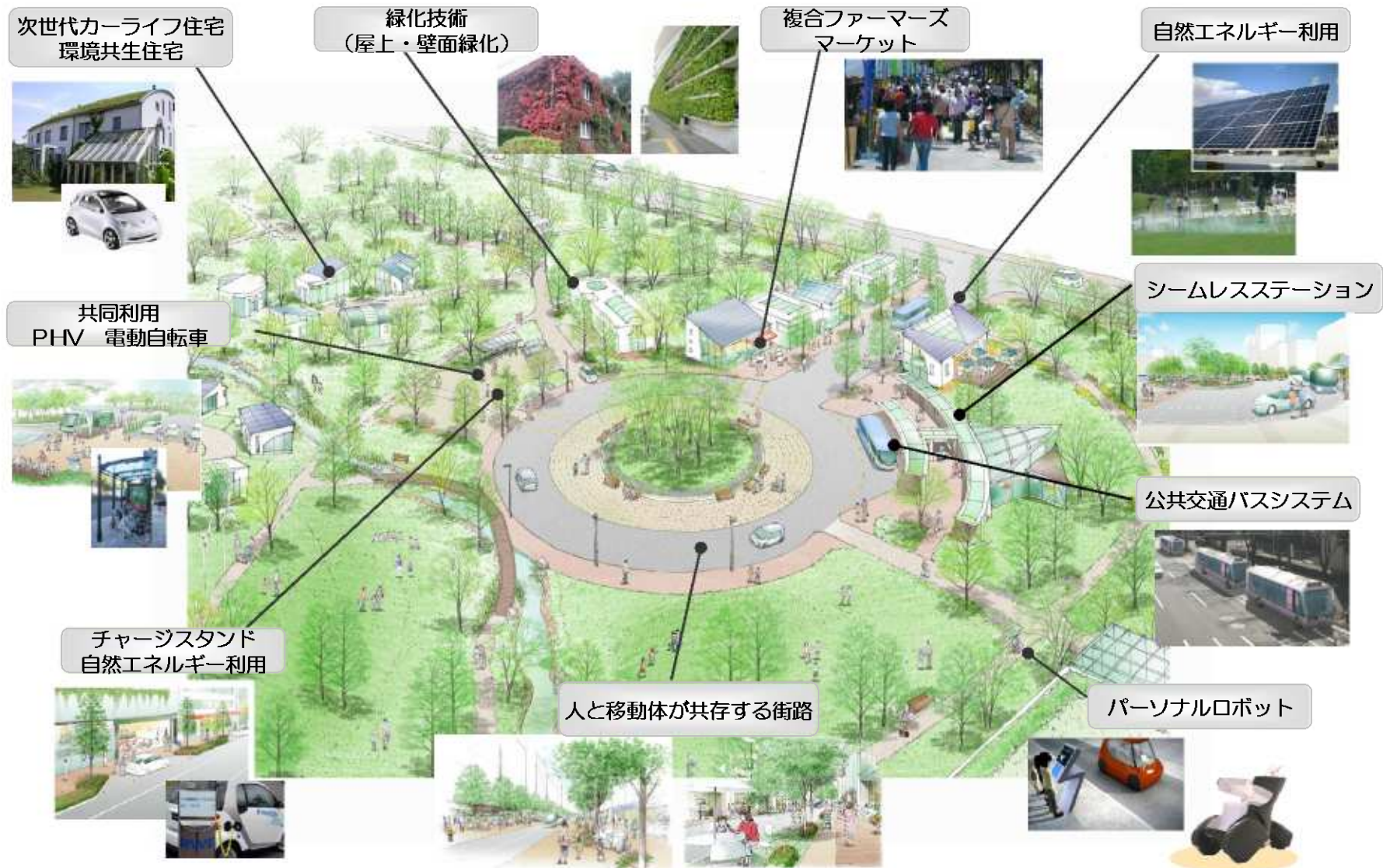


BCALsオンライン

- ・GPS
- ・加速度センサー
- ・気圧センサー
- ・通信モジュール

5. 低炭素社会モデル地区

- ・環境や交通などまちづくりに係る先進技術を実社会に導入するため、集中的、限定的に事業展開
- ・世界に先駆けて、新たなクルマ社会の快適なエコライフ空間を整備



モデル地区の役割・導入技術

市民と産・学・官が共働(市民参加)し、環境技術や交通技術などを集積した将来の街を提案し、見える化する

- 2030年, 2050年のエコライフスタイルを見て・体験して・生活できる
- 最先端のインフラ、環境、自動車技術の姿を世界に発信
近未来交通システム、パーソナルモビリティ、ITSの活用など
- 世界初の自然エネルギー、ヒートポンプ、ごみゼロエミッションの街の姿を実現
太陽光・熱などの新たな発電の仕組みなど
- 環境住宅・オフィス、パーソナルモビリティなど先端技術の開発と集積
夢住宅、LED照明、屋上緑化、壁面緑化、保水性舗装、i-REAL、モビリティロボットなど
- 得られたデータやノウハウを実際の街づくりや交通施策にフィードバック

ご清聴ありがとうございました。

